

84th Exhibition of Nihonga-In

私たちは2025年5月 東京都美術館で第84回日本画院展を開催します。
日本画院は、1938年(昭和13年)の創立以来80年余、日本画の公募団体として今日まで活動を続けてまいりました。

私たちは創立時の自由で清新な気風を継承し、現代感覚にあふれた新しい日本画の創造を目指すと同時に、国際的な視野を持った人材を育成することにも取り組んでまいりました。その一つが、アメリカ・ロサンゼルスでの滞在研修を副賞とした、ロバート・クラウダー賞です。同賞は、ロバート・クラウダーの遺志を引き継いだ、ロサンゼルス在住の日本画院顧問の棚野泰全氏の協力により創設されました。第73回展以来、すでに11名の受賞者を輩出しています。研修された方々は、様々な美術や文化にふれることにより、日本画への創作意欲を高めてきております。これらの取り組みにより、新しい視点や価値観による日本画の創造に繋がり、次の世代への架け橋となっていくことが、私たちの願いです。

私たちは引き続き、明日へのエネルギーに満ちた創作活動を続けていきたいと考えております。全国の皆様の作品応募をお待ちしております。

第83回日本画院展 受賞作品

■望月春江賞



「葱坊主」井出治子

■会員賞



「街並み」山本麗子

■ロバート・クラウダー賞



「造物者①」張淑楨

■会員賞



「吉野千本桜」賀川英広

■会員賞



「B-Baby (踊る2歳児)」中村せい子

■会員賞



「昼下がり」山口由紀江

■日本画院のあゆみ

1938年(昭和13年)

4月12日 東京において協議会が開かれ結成。

1939年(昭和14年)

4月22日～5月7日 東京府美術館において第1回展開催。

主旨(抜粋)

今日、日本画壇を見るに、全般の日本画人にとって公共の作品発表機関となし得るものは稀である。日本画院はここに作品を公募して作品発表機関を提供し、新たな時代を負うべき鋭意の作家を迎えて、共に研鑽しその発達奨励に寄与せんことを期するものである。

《創立同人》 岩田正巳 服部有恒 畠山錦成 西沢笛吹
川崎小虎 吉岡堅二 吉田秋光 高木保之助 吉村忠夫
常岡文亀 根上富治 永田春水 野田九浦 矢沢弦月
松本姿水 福田豊四郎 小泉勝爾 穴山勝堂 飛田周山
望月春江 森 白甫

1945年(昭和20年)

戦争の悪化と敗戦。激変する社会状況の中で、展覧会の開催は2年間見送られる。

1947年(昭和22年)

東京都美術館において第7回展を開催。以後毎年開催。

2009年(平成21年)

公益法人法に則り一般社団法人として出発。

2010年(平成22年)

上野の森美術館において第70回記念日本画院展を開催。

2012年(平成24年)

新装なった東京都美術館において第72回日本画院展を開催。

2013年(平成25年)

第73回日本画院展を開催。ロバート・クラウダー賞創設。

2015年(平成27年)

第75回記念日本画院展を開催。

2020年(令和2年)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため第80回記念展を1年延期。

2021年(令和3年)

第80回記念日本画院展は、東京都美術館が休館延長となり展示中止。

2022年(令和4年)

2年間の空白を乗り越え、第81回日本画院展を開催。

第84回

作品公募

日本画院展

2025 5.29(木)～6.4(水)

9:30～17:30 休館日6.2(月)

(入場17:00まで、最終日入場14:30まで 15:00閉場)

東京都美術館

ロビー階 第1・2展示室

—新しい日本画の創造—

20号から出品、200号までチャレンジ!

ロバート・クラウダー賞

(ロサンゼルス滞在研修)

皆様のご応募をお待ち申し上げます

搬入：2025年5月16日(金)10:00～15:00

東京都美術館 地下3階「日本画院展」受付



日本画院 HP

画日
院本

一般社団法人 日本画院

〒110-0004 東京都台東区下谷2-21-8 河野ビル2F

TEL:03-6458-1219 E-mail:nihonga-in@silk.ocn.ne.jp

http://nihonga-in.or.jp/

